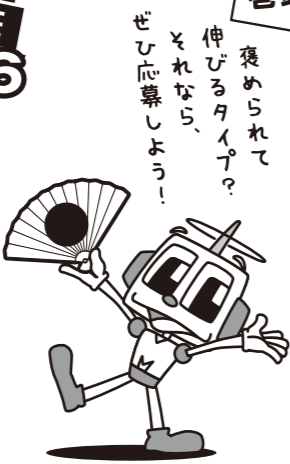




# 褒められる喜びをカタチにしました！ NPOはっぴ大賞 2016

NPOの人たちの原動力は強い思いです。だから「褒めてもらいたくて活動してるわけじゃない！」と言われる方もおみえかもしれません。でも、褒められることの喜びは、活動への励みになるのも事実です。そこで、頑張るNPOを褒賞して「今後の活動の励みにしてもらいたい！」という思いでスタートしたのがNPOあっぱれ大賞です。自選他薦は問いません。まずはノミネートしてくださいね。



あっぱれ大賞(1回)に贈られる

名誉(?)な大賞! 情報紙AROMA 巻頭取材権



ノミネートは先着8団体まで

- 公募期間 2016年 9月12日(月)~10月22日(土)
- 人気投票 2016年 11月3日(祝)~11月30日(水)  
この期間中に「氏郷まつりの会場」及び「松阪市市民活動センター展示スペース」に活動報告パネルを展示し、広く一般からの人気投票を実施します。
- 団体表彰 2016年 12月10日(土) 10:30~
- 会場 松阪市市民活動センターにて



定期的な講習参加で実技を身につけよう!

## 普通救命講習 (修了証あり)

松阪市市民活動センター：おすすめ講座

とき 10月15日(土) 13:00~16:00

ところ 松阪市市民活動センター

講師 消防組合消防本部 講習担当者

定員 20名程度 ※定員になり次第締切



万が一、人が倒れているところに遭遇した時、あなたは冷静に対処できますか? いざという時の冷静な判断力と対処法を身につけるためには、定期的に講習に参加し、“身体で覚える”ことが大切です。過去に受講歴のある方も是非この機会にご参加ください。

事前のお申込みが必要です。

松阪市市民活動センター  
TEL 0598-26-0108  
FAX 0598-25-3803  
Mail katsudou@ma.mctv.ne.jp  
HP http://www.katsudou.com

# AROMA

募集・イベント・事業案内など、本紙に情報掲載ご希望の方は、MailかFAXでご連絡ください。締切【2016年9月30日(金)】担当：澤  
次号は2016年10月中旬発行予定です。

ちょっとと編集後記.....  
本紙の編集、急遽、実践的な助成金申請ワークショップを開催することになりました。次号でご報告しますね。【S】

松阪市市民活動センター 〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 月曜~土曜日/10:00~22:00  
松阪駅下車(JR側)、徒歩5分 カリヨンプラザ駐車場あり 会議室利用時間に限り無料 ラウンジ利用は2時間まで無料

TEL 0598-25-3801 (予約専用) 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

利用 会議室 大会議室.....机10 椅子30 (610円) 機材等 印刷機(紙持込) / コピー機  
小会議室1...机4 椅子12 (160円) マイク/プロジェクター 他  
小会議室2...机6 椅子18 (210円) 会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。  
料金は1時間。小会議室の組み合わせ可。外会議室.....机8 椅子24 (410円) 利用申込 申請書類は窓口でご記入いただくかお電話にて予約後、ご提出ください。

情報提供 ▼ 松阪市市民活動センターホームページ  
http://www.katsudou.com  
▼ 市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室予約の確認など)  
http://matsusaka.genki365.jp



# AROMA

A Resident Of Matsusaka Activity

(予約専用)  
TEL 0598-25-3801  
0598-26-0108  
FAX 0598-25-3803  
E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

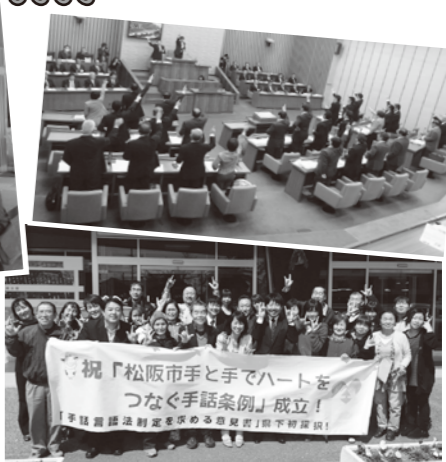
~アロマ~ No.66

## ちよっと気になる 団体

今号は... 松阪市ろうあ福祉協会 さんです



松阪市の手話条例シンボルマーク



今回の「ちよっと気になる団体さん」は特別に、松阪市ろうあ福祉協会会長の深川誠子(ふかがわ せいこ)さんに執筆していただきました。

**松** 阪市手と手でハートをつなぐ手話言語条例が、平成26年4月1日施行されました。条例の議決に駆け寄ってくれた皆さま、施行にご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。私は今でもあの悲願が達成された日の光景をはっきりと思い出せます。

**平** 成26年3月24日、月曜日、本議会にて、条例議案採決の際に議長が手を動かし始めました。何のための動きだろうと見ていたら、議長自ら手話で話しているではないですか。それだけでもびっくりですが、意見陳述の際も賛成派の議員自ら手話で意見を述べていました。何より一番素晴らしいのは、満場一致で可決後、市長や病院、消防局、他の各代表者全員、そして全議員が手話で「みんなと一緒に頑張っていきましょう」と掛け声を出し、決意表明してくださったこと。その時見た彼らの手話は本当に言葉にしなくとも心に響き渡りました。その響きと感動は、私たちの活動の歴史に深く刻まれました。その歴史的瞬間に立ち会えたことを嬉しく思います。また、その時、普段の生活の中で私達と市民みんなが“手話”で会話をしている夢のような松阪市の未来の光景が浮かびました。同時に「この光景を実現させるためにもこれから頑張らなくては」と、思いました。

**私** たちは耳が聞こえないことで様々な思いを感じ、見てきました。松阪市ろうあ福祉協会の活動においても、市民の皆さんとの交流の傍ら、表面では見えない様々な不安をかかえる仲間たちが意見を持ち寄って

した。耳が聞こえないこと、聞こえにくいことは誰よりもわかりにくい障がいであるため、私たちの悩みは気づかれにくいのだと思います。一般的には補聴器や人工内耳を見て判別すると思いますが、それについても理解不足ですし、機器をつけることによって起こるデメリットがあることも世間にはまだまだ理解されていません。

**課** 題はたくさんありますが、中でも、情報保障の幅が狭いために不利益があること、手話が一般に広まっていないことで、私たちの言いたいことが伝わらないことは大きな課題です。その課題を解決するために、私たちは歴代の役員や他の協力者たちとともに活動してきました。その積み重ねにより、ようやく、私たちの代で手話言語条例が施行されたのです。これにより、情報が入らない不利益など、情報保障が充分整備されていなかった社会が変わろうとしています。まだまだ不十分ですが、私たちがあきらめずに活動してきたことが、少しずつ実になりつつあることを心から嬉しく思います。松阪市ろうあ福祉協会は、今後も私達の生活を守り、社会で障がいの有無に関係なく、皆さんと一緒に笑顔で暮らせる市町作りのための活動や協力を惜しむことなく、一丸となって頑張りたいと思っています。

この記事執筆後、三重県でも手話言語条例が成立し、平成29年4月に施行されることが決まりました。深川さんたちの活動は社会を動かす力の源となっています。大きな夢を叶えるため頑張ってくださいね。

## 清き「いいね!」をお願いします!

【告知】チラ-1グランプリ2016 Facebookで人気投票実施



三重県内で活動する市民活動団体の自作チラシのNo.1を決定するチラ-1(チラワン)グランプリ。9月12日から公式Facebookページにて「いいね!」による人気投票を開始します! お気に入りの作品に皆さまからの清き「いいね!」をお願いします。三重県内のNPOをみんなで応援しましょう!

人気投票 2016年 9月12日(月) ~ 10月12日(水)

お気に入りの作品に「いいね!」を押して応援してください。結果発表は下記の日程で実施。

チラ-1グランプリ

結果発表会 11月19日(土) 13:00~

会場 アスト津3F: 作品展示あり

〈主催〉みえ イーパーツ リユースPC寄贈プログラム実行委員会  
お問合せ reuse-mie@sub.eparts-jp.org

## 松阪木綿の着物で地域性もアピール

【報告】松阪市市民活動センター 打ち水大作戦 2016 決行



7月22日、今年も大暑に合わせて打ち水大作戦を決行しました。この日までに準備した二次利用水、約85リットルを会議にみえていた自治会長の皆さんや登録団体の皆さん、松阪市長とともに打ち水しました。当センターのスタッフは松阪木綿の着物姿で地域性もアピール。新聞やテレビなどで取り上げていただき、広く周知できました。打ち水後はセンター会議室にて交流会を実施。身近なエコについて話す場も設けました。当センターが主となり、この地域で打ち水を呼びかけて9年目を迎えます。近隣商店街から打ち水の報告写真を送っていただくなど、自治会連合会や商店街連合会とともに広げるこの取り組みも夏の風物詩として定着してきたように感じます。

## 審査する視点でズレがないかを確認

【報告】助成金申請のためのポイント勉強会 開催



7月23日、当センター主催のおススメ講座「助成金申請のためのポイント勉強会」を開催しました。この勉強会では、住友理工「夢・街・人づくり助成金」で使用する実際の申請書を用いて、注意すべきポイントを解説しました。申請書類の中には「審査のために聞きたい事柄」と「記入された内容」にズレがあることが多いのも事実です。そういったズレをなくするために活動や事業の情報を「棚卸し」するワークも実践的に取り入れました。このシートに記入した内容を順序立てて並べれば申請書に落とし込めるはず。まずは「自分が審査する立場なら」という視点で冷静に要項を読み解き、現状の社会課題にどうアプローチするかを考えると「求められる答え」に近づくのではないのでしょうか。

## 36名のお祭りマイスターが誕生!

【報告】2016年度 お祭りマイスター認定式+交流会 開催



7月9日、お祭りマイスターの認定式と交流会を開催しました。5月と6月に実施した「お祭りマイスター育成ワークショップ(※)」に参加し、一定の条件を満たした人に認定証を授与しました。2016年度は36名のお祭りマイスターが誕生しましたよ!

この日は参加者同士の交流会も実施。「お祭りマイスターのスキルをどう活かしたいか?」というテーマで今後の活動について話しあってもらいました。「地元自治会で綿菓子を振る舞う予定」、「自分も楽しみながら地域を盛り上げます!」、「市民活動センターのイベントのお手伝いします!」など嬉しいコメントを多数いただきました。お祭りマイスターの技術で各地のお祭りを盛り上げてくださいな。

(※)お祭りマイスター育成ワークショップ  
お祭りなどで人気の高い「綿菓子」、「バルーンアート」、「缶バッジ」の技術を学んでいただき、地域イベントなどに自主的に参画できるボランティア人材を育成する事業。

## チャリティー縁日で街に賑わいを

【報告】第23回 七夕まつり・鈴の音市に出店しました



8月6日、市民がつくる楽市楽座「鈴の音市」に出店しました。今年度のセンターブースは、当センター認定のお祭りマイスターによる「チャリティー縁日」で街の賑わいづくりに貢献しました。綿菓子、バルーンアート体験、缶バッジ作り体験をそれぞれ100円で実施。この日の売り上げは材料費を除き、この地域のNPO支援に役立てます。

## 賑わう街で団体アピール

【報告】鈴の音市出店補助金

2万人以上の来場者で賑わう鈴の音市にて、団体活動をアピールしてもらうための登録団体向けアピールチャレンジ事業「鈴の音市出店補助金」を活用した3団体もブースを出店しました。大勢の来場者で賑わう祭り会場というチャンスを生かし、自己資金を得るためのパザーや、団体PRに励んでみえました。

鈴の音市出店補助金：活用団体

ユニバーサルデザイン 夢現  
特定非営利活動法人 裕

松阪難聴者・中途失聴者の会 すてきなステーキ



市民ステージの常連の  
大正琴アンサンブルタマイさん



すてきなステーキさんは  
ブース出店とステージ出演の  
両方でアピール

センターブースの隣には、市民活動団体の日頃の活動アピールのために「市民ステージ」を設けました。出店補助金を活用した「すてきなステーキ」さんは、市民ステージにも出演。難聴者や中途失聴者への理解を求め、「要約筆記」をプロジェクターで投影してアピールしました。